



12/28
SUN



12月13日 色付け始まる。



12月28日 完成を喜び記念撮影。



12月26日 相談しながら最後まで仕上げていく井上さん(右)と中村さん。



12月26日 もうすぐ完成。



12月13日 次第に色が付いていく。

大龍神社



12月27日 見事完成!



12月29日 ラジオ番

12月28日 設置場所に移動。

新春彩る巨大絵馬
大龍神社

指導した美術部顧問の多賀谷より子教諭は「絵馬を通じて地域の方とつながった。生徒たちは貴重な経験になったと思います」と喜びの声。現在絵馬は境内の招魂社横に移設されています。

絵をはじめて3週間後の12月27日に見事完成。部長の島田さんは「神社を訪れた人が1年間いい思いで過ごせるようにと思いを込めて描きました」と絵馬を前に満足げな表情。同級生の午未会代表の宍戸達彦さん(本町)は「馬が浮き上がって見えるようだ。羊もバランスよく描かれています」と絶賛しました。

大龍神社の新年を飾る巨大絵馬。平成20年から描かれていますが、一昨年からその役を担うのが、大竹中学校美術部の生徒たちと卒業生です。今回も還暦を迎えた8年の大竹祭に参加する同級生らの依頼で、干支の絵馬を制作しました。夏休みから絵柄の構想を練ったのが、美術部出身の井上珠(みゆ)さん(中3)の3人。12月6日から制作しました。夏休みから絵馬に下絵を描き、美術部の生徒らが色付けをしました。

描き始めて3週間後の12月27日に見事完成。部長の島田さんは「神社を訪れた人が1年間いい思いで過ごせるようにと思いを込めて描きました」と絵馬を前に満足げな表情。同級生の午未会代表の宍戸達彦さん(本町)は「馬が浮き上がって見えるようだ。羊もバランスよく描かれています」と絶賛しました。